

やって未来こい!情報

第1号

2020,6,1

コロナ禍の下での活動展開

伊野の将来ビジョンがお手元に届きましたでしょうか？

大勢で集まることができませんので、小さな集団で濃密な議論を展開してビジョン実現につなげていただきたいと思います。どんな動きが始まっているか、情報をお伝えします。

空き家活用で、まちづくりの拠点づくり

昨年、山崎亮さんから「こそこそできる大人の隠れ家」という提案がありました。借りることができ空き家が見つかりましたので、交流部会の多久和秀政さんを中心に、空き家を活用したまちづくりの拠点づくりの準備が始まりました。6月5日に、第1回準備会を開催します。

会議や飲み会、国際ワークキャンプや伊野バージョン・伊野暮らし体験の宿泊場所、カフェなど多目的に使える場所として構想をふくらませています。

自家用車におしゃれなマグネット・ステッカー

出雲市の補助金で車に貼るステッカーを作ります。デザインはプロにお願いします。伊野のやる気を高めることと対外アピールをねらっています。

困りごと支援の有償ボランティア組織について研究開始

福祉・医療・くらし部会が「困りごと支援の有償ボランティア組織」立ち上げを提案していました。山崎功さん、岩成正美さん（新社協会長）、岩成尚子さんらが研究を開始しました。5月25日に伊野本陣を視察、介護事業の内容について聴き取りを行いました。今後、出雲市社協との相談会を開催する予定です。

福島沙織さん（地域おこし協力隊員）サポート

「食」を窓口で伊野のまちづくりを支援したい、とやる気満々の福島さん。当面、伊野を「見る・知る・つながる・参加する」という活動を支援します。「ここにおいで」というお誘いをお待ちしています。

今のところ、みずぶき料理講習会（6月1日）、しば作り講習会、ホテル観賞、漁業者の声を聞く会などが予定されています。

日本海漁業の振興－漁師の声を共有しよう－

漁業者の皆さんの声を聞く会を出雲市水産振興課と共催で6月～7月に開催します。

ウニの卵採取の現場を女性数人で見学させていただきます。（7月）

ふるさと会員拡大－伊野を応援してくださる皆さんとの関係構築－

伊野ふるさと会員の募集が始まって4年。昨年度のご寄付は42万円。伊野小児童の修学旅行経費や卒業アルバムの補助などに使われ、感謝されています。

会員拡大と会員の皆様との関係のありようについて検討する会議を、倉橋浩志さん、原田智子さん、多久和秀政さんらを中心に開催します。（6月3日）

農水産業振興－直売所開設準備－

農水部会のビジョンに直売所立ち上げが提案されています。常松守男さんを中心に準備が始まり、湖北線沿いの空き地にコンテナハウスが設置されました。

美味しい伊野米をアピールするための米袋デザインができあがりしました。

生活バスのルート変更－実現に向けて動き出す－

伊野を走る生活バスのうち5便が下川橋を通らず、高山橋から農道を通り平田に向かいます。美野町の皆さんから全便を下川橋経由にしてほしいという要望があり、安全部会と福祉部会が急がれる課題として取り上げていました。

平田行政センターと相談し、東地区と伊野地区合同の「地合線運行協議会」を6月5日に開催することになりました。10月からのダイヤ改正をめざしています。

市の補助金30万円確定－各部会2万円－

まちづくりを支援する「元気！やる気！地域応援補助金」に応募したところ、採択の通知が届きました。（出雲市で9地区採択）伊野地区はこれで3回目です。1回目は、10年後の伊野を考える動画作成、2回目は、伊野の将来ビジョン作成、今年度はビジョン実現の取組助成。

アクションプラン実現のために各部会に2万円、伊野をアピールするマグネットステッカーに8万円、人財育成の学習会に8万円が認められました。

今後の取組課題

- 戦略会議を発展的に解消し、新しいまちづくり推進組織を立ち上げる
- 防災力・危機対応力を高めるための検討